

「空飛ぶクルマ」の「社会受容性」を高めるための社会技術の開発と普及（九州大学・小島立）

概要

「空飛ぶクルマ」の社会実装に向け社会制度設計や、社会受容性についての根本的な検討が不足していると言える。空飛ぶクルマが広範に社会に普及するための、低エネルギー負荷、スマートモビリティとしてのサービス実現、運航に不可欠な施設・構造物などのインフラ構築、都市交通政策に照らした考察や倫理的課題、法制度などの複合的な課題を解決するため産学官民によるハイブリッドフォーラムを実現を目指し、空飛ぶクルマの社会実装に向けた社会受容性を高めるためのプラットフォームとする。

実施項目及び実施結果

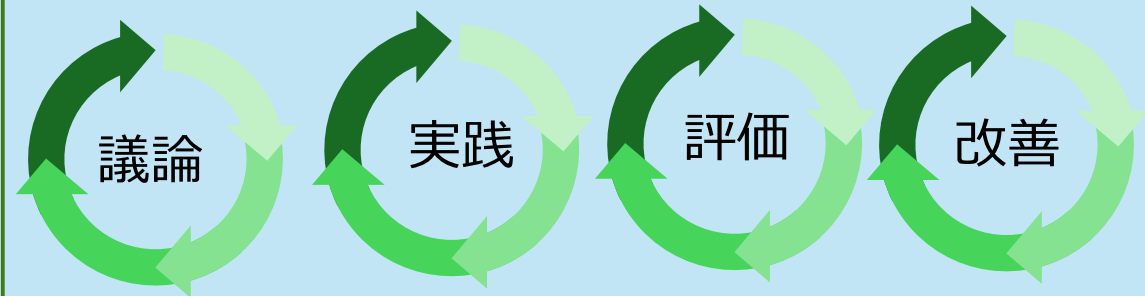
- ・次世代エアモビリティEXPO出展（2024年6月）
- ・「福岡空のモビリティ勉強会」開催（2024年8月）
- ・JST「サイエンスアゴラ」オープンセッション開催（2024年10月）
- ・「ハイブリッド・フォーラム（HF）」の創設
社会課題解決型ワークショップ
「空飛ぶクルマは、全ての人を幸せにできるか？」開催（2024年11月）
- ・「空飛ぶクルマ」の社会実装へ向けた社会受容性の可視化と向上のためのチェックリスト作成

目標

産・学・官・民の参加

「ハイブリッド・フォーラム（HF）」 継続的議論・熟議の実現

「市民」参加型の開かれた継続的な検討の場



PDCAサイクル

「社会受容性」の向上

HFで用いる教材の開発とアップデート

社会実装に向けた機運の醸成

「空飛ぶクルマ」の
国際スタンダード確立

「社会受容」の実現

「空飛ぶクルマ」の「社会受容性」を高めるための社会技術の開発と普及（九州大学・小島立）

短期計画

「空飛ぶクルマ」の社会実装へ向けた
社会受容性の可視化と向上のための
「チェックリスト」作成



チェックリストを用いた
社会調査・実証実験のための
産官学民連携プラットフォームの形成

JAL、山梨県、山梨大学、MS &
ADインターリスク総研、九州大学
の5社連携協定締結（予定）

第1弾調査対象地：山梨県小菅村
2025年2月アンケート実施予定

長期計画

「空飛ぶクルマ」の社会実装へ向けた
社会受容性の可視化と向上のための
「チェックリスト」を用いた
「社会調査方法」の確立
教材の確立



HFを全国に広く展開
社会実装に向けた機運の醸成
HFで用いる教材の開発とアップデート

「空飛ぶクルマ」の
国際スタンダード確立

空飛ぶクルマの「社会受容」の実現